

# ボランティアだより

令和5年3月  
第17号

## はあとステーション



たくさんのボランティアさんにご協力いただいています！  
いつもありがとうございます！

令和3年から始まった「ボランティア喫茶 はあとステーション」。コロナ禍でお休みをしていた期間もありますが、現在は本格的に再始動となっています。  
ボランティアさんとお客さんがにぎやかに話されている様子も見られ、毎回あたたかい雰囲気であふれています。

今回は、日ごろ喫茶のスタッフとしてご協力くださっている、久々子の西村加代子さん（写真左）河原市の中谷靖子さん（写真中央）、佐野の大塩和美さん（写真右）にお話を伺いました。



### 大塩さんのお話

買い物などで知っている顔を見かけても、ゆっくり話し込むことはできないけど、喫茶の時間であれば当番の方同士でゆっくりお話しすることができます。

この場に参加することで、人とのつながりが広がったように感じています。

### 中谷さんのお話

はあとぴあのお風呂や、子ども・子育てサポートセンターにいられている方、また一時預かりを利用していらっしゃる親子など、いろんな世代の方と関われるのもとても楽しいです。

ボランティアというと自分以外の誰かの役に立つ、というイメージがありますが、それだけではなく、「自分のためにやっている」という感覚もあり、やりがいを感じています。

### 西村さんのお話

当番は基本的に毎回違う方と一緒にさせていただいたので、いろんな方と知り合うことができて楽しいです。喫茶の準備をしながら、またお昼ご飯と一緒に食べながら、仲を深められて嬉しいです。

日頃は自分が住む集落や地区の方との関わりが多いですが、ここでは集落や地域は関係なく顔見知りになれるのがいいですね。

# おでかけワゴン



令和3年に、移動手段がない方のお出かけをお手伝いする「おでかけワゴン」がスタートしました。たくさんボランティアさんに協力いただいています。いつもありがとうございます！

今回は、佐野の坂田俊明さん（運転手ボランティア・写真左）と、佐田の辻井正子さん（付き添いボランティア・写真右）に、お話を伺いました。

## 辻井さんのお話

利用される方の中には、とても久しぶりにお会いする方もおられ、なつかしい話をたくさんすることができて楽しいです。おでかけワゴンに参加していなければならお会いできなかった方がたくさんおられます。

ボランティアとして活動する中で、自分自身の健康のありがたさも感じています。これからもできるだけ長く協力させてもらいたいと思っています。

## 坂田さんのお話

お迎えに上がった時に、喜んでお家から出て来られる様子や、帰る時に「ありがとう」と言ってもらえる時にやりがいを感じています。また、この活動を通じて、普段あまり行かない所に足を運べるのは嬉しいですね。

仕事もリタイヤして特に冬場は、田畑もやることなく、どうしても家にもりがちになってしまいます。そんな中で、「この「おでかけワゴン」が「きょういく」と「きょうよう」（今日行く所がある・今日すべき用事がある）につながり、生活のハリを与えてくれていると思います。

## ボランティア保険への加入はお済ですか？

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや、損害賠償責任を補償します。特定感染症重点プランでは、新型コロナウイルス感染症も補償対象となります。詳しい内容は、右記のQRコードからパンフレットをご確認ください。



|                   | 基本プラン   | 天災・地震補償プラン | 特定感染症重点プラン |
|-------------------|---------|------------|------------|
| 年間保険料（加入日翌日～3/31） | 350円    | 500円       | 550円       |
| 補償例（死亡）           | 1,040万円 |            |            |
| （入院保険金日額）         | 6,500円  |            |            |
| （通院保険金日額）         | 4,000円  |            |            |

■ボランティア活動への参加、お問合せなどはこちら■  
 美浜町ボランティアセンター（美浜町社協内）  
 美浜町郷市 25-20 電話：32-1164 FAX:32-5915

■ボランティアセンターのホームページ■  
 （美浜町社協ホームページ内）  
 はあとステーション・おでかけワゴンの情報も掲載中

